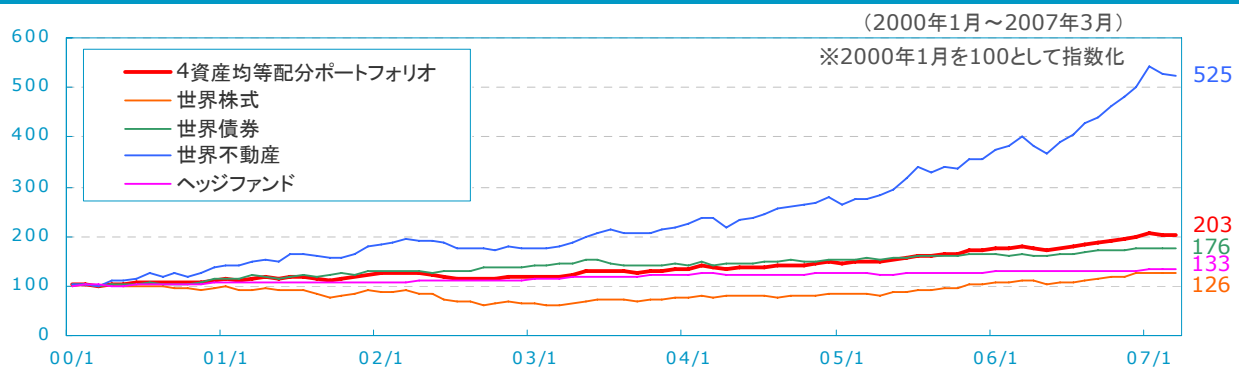


## 国際分散投資における新たな選択肢 《ヘッジファンド》

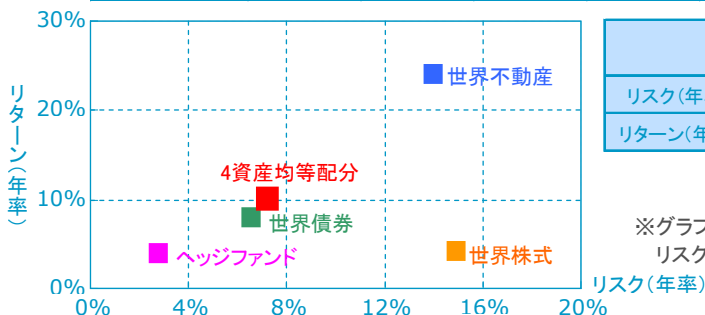
### 国際分散投資にヘッジファンドを組み入れることによる効果とは？

下のグラフは、代表的な金融資産である株式・債券・REIT それぞれの値動きと、ヘッジファンドを加え均等投資した場合のパフォーマンスをシミュレーションしたものです。ヘッジファンドをポートフォリオに加えることにより、資産全体の値動きが安定することが期待できます。

4つの資産および4資産均等配分ポートフォリオのパフォーマンス・シミュレーション



	年次リターン								累計リターン
	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年 (3月まで)	2000年1月 ～2007年3月
4資産均等配分	12.21%	10.23%	-5.39%	14.28%	11.18%	14.49%	17.34%	1.82%	103.39%
世界株式	-5.22%	-4.79%	-28.28%	18.80%	8.45%	24.86%	20.11%	0.98%	26.27%
世界債券	13.35%	13.63%	8.20%	3.78%	5.51%	7.27%	7.13%	0.23%	75.74%
世界不動産	37.82%	29.71%	-2.32%	25.49%	27.93%	27.10%	40.38%	4.88%	424.61%
ヘッジファンド	5.19%	3.04%	3.39%	9.27%	3.32%	-0.01%	4.09%	1.03%	33.02%



	世界株式	世界債券	世界不動産	ヘッジ ファンド	4資産 均等配分
リスク(年率)	14.88%	6.57%	14.00%	2.76%	7.22%
リターン(年率)	4.33%	8.01%	24.03%	3.98%	10.09%

(2000年1月～2007年3月)

※グラフ・表のリターンは上記期間の月次リターンの平均を年率換算し、リスクは上記期間の月次リターンの標準偏差を年率換算したものです。

※グラフ、データは過去のものもしくはシミュレーションの結果であり将来の運用成果などを約束するものではありません。※グラフ・データは信頼できると判断したデータを基に日興アセットマネジメントが作成したものです。※4資産均等配分は日興アセットマネジメントが行なったシミュレーションの結果(円ベース)です。各月毎に対象となる4指数(資産)を25%づつ均等に組み入れ投資を行なったと想定しています。※グラフ・データの作成にあたり使用した指数は次の通りです。世界株式:MSCIオールカントリーワールド指数(円ベース)、世界債券:シティグループ世界国債インデックス(ヘッジあり・円ベース)、世界不動産:S&Pシティグループ・グローバル・リート・インデックス、ヘッジファンド:クレディ・スイス/トレモント・インベスタブル・ヘッジファンド・インデックス(円建て)

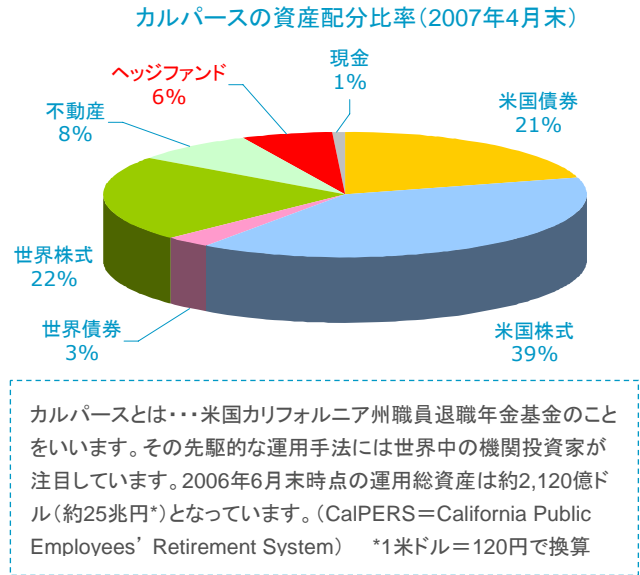
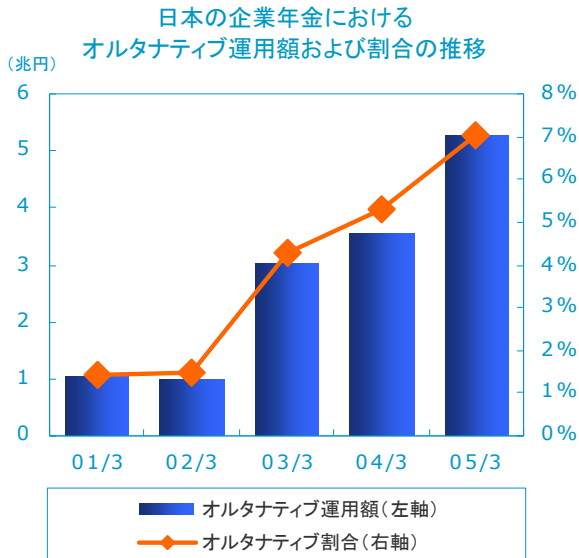
■MSCIオールカントリーワールド指数(円ベース)は、モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル(MSCI社)が公表している、世界の主要国の株式市場の動きを捉える基準として広く認知されている指数です。MSCI社が独自に算出した世界の株価指数を合成したもので、「米ドルベース」と「現地通貨ベース」があります。当グラフでは米ドルベースの指数に為替レートを乗じて円ベースの指数を算出したものを用いています。■シティグループ世界国債インデックスは、シティグループ・グローバル・マーケッツ・インクが開発した、世界の主要国の国債市場の合成パフォーマンスを表す指数です。■S&Pシティグループ・グローバル・リート・インデックスは、スタンダード・アンド・プアーズ社(S&P社)が発表している、世界の主要国の不動産投資市場の合成パフォーマンスを表す指数です。■クレディ・スイス/トレモント・インベスタブル・ヘッジファンド・インデックス(円建て)の出典はクレディ・スイス/トレモント・ヘッジファンド・インデックスです。■各指数に関する著作権、知的財産権およびその他の一切の権利は公表会社に帰属し、また各社は発表している指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

当資料は、日興アセットマネジメントが国際分散投資などについてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。

## 国内外の年金基金におけるオルタナティブ戦略の組み入れ状況

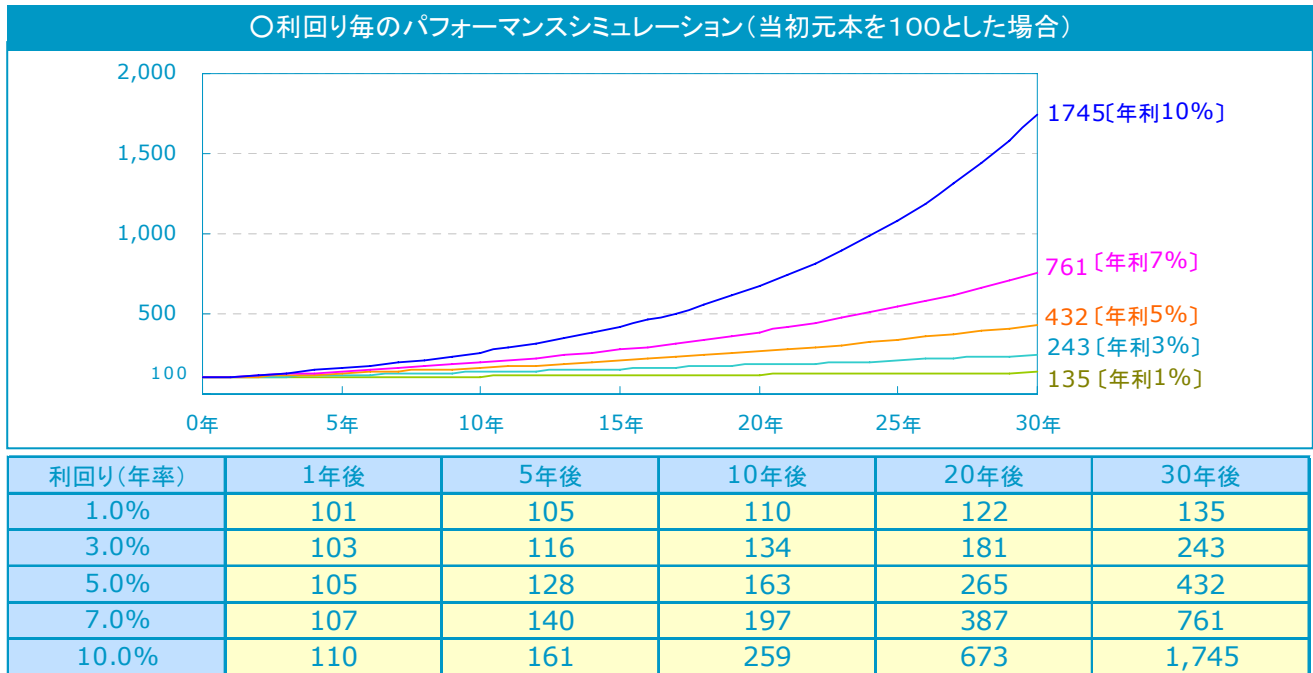
国内外の年金基金において、ヘッジファンドの導入はどの程度進んでいるのでしょうか。

下の左のグラフは、日本の年金基金におけるオルタナティブ運用（ヘッジファンドおよび REIT など）の規模および割合の推移です。毎年その規模・割合ともに増加していることが読み取れます。また、右の円グラフは世界最大規模の公的年金基金であるカルパースの運用資産の内訳です。ヘッジファンドが約6%となっています。



※信頼できると判断した情報を基に日興アセットマネジメントが作成

## (ご参考)長期投資による複利効果



※日興アセットマネジメント作成

※各種金融商品に係るコスト・税金等は考慮しておりません。また、金融商品によっては価格の変動があるため必ずしも上記のようなパフォーマンスとはならない点にご留意ください。

当資料は、日興アセットマネジメントが国際分散投資などについてお伝えすることなどを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。